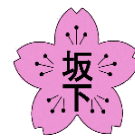


ひとりだち

令和8年度 第1号 4月7日

ひとりだちできる子になろう



・さわやか あいさつ
・かっぱつ 発言
・しっかり そうじ
・たのしく 運動
・♪ひびく 歌声

「笑顔と感謝のあふれる学校」

校長 丹羽 達也

暖かい風が、桜の開花とともに希望の春をつれてきました。20名の新一年生を迎え、令和8年度の坂下小学校は、174名でのスタートです。保護者の皆様、お子さまのご進級・ご入学おめでとうございます。新しい出会いに希望と期待いっぱいの子どもたち。その気持ちを大切にしながら「笑顔と感謝のあふれる学校」をめざし、職員一同、保護者の皆様と連携しながら、教育活動に取り組んでまいります。

4月7日の始業式では子どもたちに下記のような話をしました。「自分から進んであいさつすること」や「新しいことにチャレンジすること」について、ご家庭でも話題にしていただけたら幸いです。

坂下小学校のみなさん、おはようございます。今日からいよいよ令和8年度のスタートです。

今年の坂下小学校は、全部で174人のお友達がいます。たくさん友達と一緒に勉強したり、遊んだりできること。それが学校の一番素敵ところです。みんなで力を合わせて「笑顔と感謝のあふれる坂下小学校」にしていきましょう。

さて、新しい年度を始めるにあたって、校長先生から、皆さんが笑顔で過ごすために大切な「二つのお願い」をします。

一つ目は、「あいさつ」です。坂下小学校には「さわやかあいさつ」という素晴らしい伝統がありますね。今年はさらにパワーアップしましょう。「おはようございます!」「こんにちは!」「さようなら!」。相手の目を見て、自分から進んであいさつをする。校長先生も負けませんよ。皆さんが先生を超えるくらいの元気なあいさつをしてくれるのを、楽しみに待っています。

二つ目は、「新しいことへのチャレンジ」です。今日から、新しい担任の先生との生活が始まります。「去年と同じでいいや」と思っているのは、体は大きくなっても、心はなかなか成長しません。「係の仕事で新しい工夫をしてみる」、「今まで話したことがない友達に声をかけてみる」、「授業で進んで手を挙げてみる」。どんなことでも構いません。勉強でも、生活でも、「やってみよう!」というチャレンジする気持ちを大切にしてください。

「自分から進んであいさつ」と「新しいことへのチャレンジ」。この二つを大切にして、今日からの一年間、一緒に頑張っていきましょう。